

報道関係者 各位

令和8年8月27日

【照会先】

神奈川労働局 労働基準部 安全課

課 長 赤前 幸隆

安全専門官 堤 翔太郎（転倒）

健康課労働基準監督官 坂間洸之（腰痛）

（電話）045(211)7352

E-mail: anzenka-kanagawakyoku@mhlw.go.jp

労働災害防止・安全衛生対策セミナーを開催します

～10月5日(月)横浜市開港記念会館、11月11日(水)茅ヶ崎市民文化会館～

近年、神奈川労働局管内では、労働者の高齢化を背景に、転倒や腰痛による労働災害が増加し、労働災害全体の約3割以上を占める状況にあります。

このうち、女性による転倒災害が約6割を占め、なかでも年齢50歳以上の女性労働者による転倒災害の割合が約8割以上に昇っていて、転倒で負傷した50歳以上の女性労働者の約7割が手首や脚などの骨折により治癒までに時間を要しているほか、後遺障害により、将来の健康寿命に大きな影響を及ぼしかねない重大な問題が生じています。

このような転倒災害や腰痛災害を防止するには、事業者及び働く人双方が体力の状況を客観的に把握し、事業者は体力に合った作業に従事させるなど、関係者一人一人が行動災害防止に向けた正しい知識と理解を深め、行動変容を促すことが重要と考えます。

当局では、将来の健康寿命に影響を及ぼすおそれのある労働災害を重く受け止め、地方自治体や関係機関等と連携し、労働災害の問題点と対策について情報共有を図るため「労働災害防止・安全衛生対策セミナー」を開催することといたしました。

【開催目的】

本セミナーでは、労働災害として最も多く発生している「転倒や腰痛」災害により生じている骨折や重篤な後遺障害など、神奈川県内で発生している労働災害の現状を説明するほか、令和8年4月から施行している「高年齢者の労働災害防止のための指針」や企業による取組事例、国や自治体が行っている様々な支援策などを広く周知・啓発し、事業者をはじめ、安全管理や健康管理等の実務担当者に向けて、労働災害防止の取組みを促進することを目的に開催いたします。

【別添資料】 労働災害防止・安全衛生対策セミナー（案内チラシ）

1 第4回神奈川転倒・腰痛災害防止大会 in 横浜

日 時 令和8年10月5日(月) 13時30分から15時50分まで

場 所 横浜市開港記念会館 講堂（横浜市中区本町1-6-6）

2 第5回神奈川転倒・腰痛災害防止大会 in 湘南

日 時 令和8年11月11日(水) 13時30分から16時10分まで

場 所 茅ヶ崎市民文化会館 大ホール（茅ヶ崎市茅ヶ崎1-11-1）

参加費
無料

知って防ぐ、実践して守る—

労働災害防止・安全衛生対策セミナー (第4回神奈川転倒・腰痛災害防止大会)

in 横浜



開催日時

2026

10/5

13:30~15:50

会場 横浜市開港記念会館 講堂
(横浜市中区本町1丁目6-6)

※会場に駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい。

定員 260名(申し込み先着順)

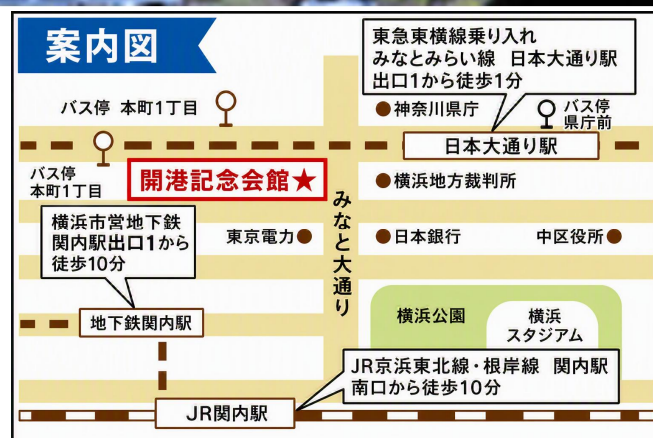
申込方法

受付サイト(<https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/briefings/NTkxNA==/91138c35cfa1435d9e06037030f4d554>)にアクセス、又は二次元コードからお申し込みいただけます。

問い合わせ先 神奈川労働局 安全課 (TEL:045-211-7352)



申し込みはこちら



講演内容は裏面をご参照ください

主催: 神奈川労働局 共催: 横浜市健康福祉局健康推進課
神奈川産業保健総合支援センター

セミナープログラム

特別講演

● 新・エイジフレンドリー指針から
健康づくりを考える

公益財団法人明治安田厚生財団

体力医学研究所 副所長 甲斐裕子 氏



事例発表

● 職場に来て目指せ健康！
転カツ・腰カツでいつまでも元気に働く
健康プロジェクト

社会福祉法人愛生福祉会

特別養護老人ホーム田谷の里

● 外部資源を活用した転倒・腰痛災害リスク低減

独立行政法人労働者健康安全機構

神奈川産業保健総合支援センター

参加費
無料

知って防ぐ、実践して守る—

労働災害防止・安全衛生対策セミナー (第5回神奈川転倒・腰痛災害防止大会)

in 湘南

開催日時

2026

11/11

13:30~16:10



会場

茅ヶ崎市民文化会館 大ホール
(茅ヶ崎市茅ヶ崎1-11-1)

※できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。
お車でのご越しの際は周辺の有料駐車場をご利用ください。

定員

1000名(申し込み先着順)

申込方法

受付サイト(<https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/briefings/NTkxOA==/66a6bea141ae4a39a2d39cafd97fa31>)にアクセス、又は二次元コードからお申し込みいただけます。

問い合わせ先

神奈川労働局 安全課 (TEL:045-211-7352)



申し込みはこちら

講演内容は裏面をご参照ください

主催 神奈川労働局

共催 茅ヶ崎市, 茅ヶ崎市教育委員会, 茅ヶ崎医師会
神奈川産業保健総合支援センター

協力 茅ヶ崎歯科医師会, 茅ヶ崎・寒川薬剤師会, 中央労働災害防止協会

セミナープログラム

特別講演

● 最新の研究事例から
転倒腰痛災害防止対策を考える
独立行政法人労働者健康安全機構
神奈川産業保健総合支援センター
産業保健相談員 位高駿夫 氏



事例発表

● 安全を経営に組み込む
～VISIONとともに育てる、平塚の安全活動～

田中貴金属工業株式会社 平塚工場



● バス事業者による安全衛生活動事例
～作業の特性を考慮した動画教材作成による
腰痛予防対策～

神奈川中央交通株式会社

To reduce the risk of falling

STOP！転倒災害

プロジェクト神奈川

▶ since2015

【転倒】による
【労働災害】とは

職場で仕事中に



すべり・つまづき・踏み外し
などにより**負傷**することです

令和7年における神奈川労働局管内
の
労働災害発生状況を確認してみよう！



厚生労働省

神奈川労働局

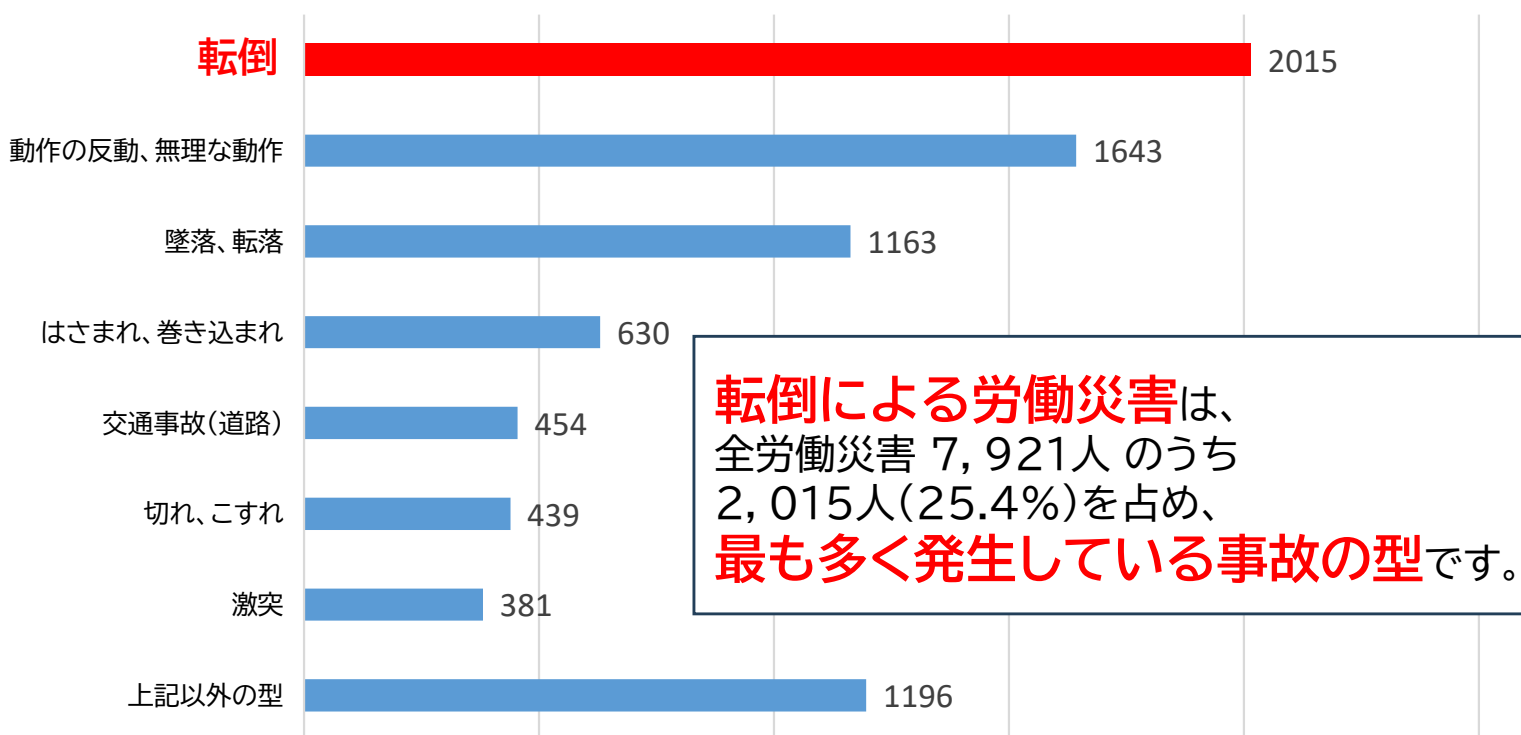
神奈川労働局管内における

転倒災害発生状況

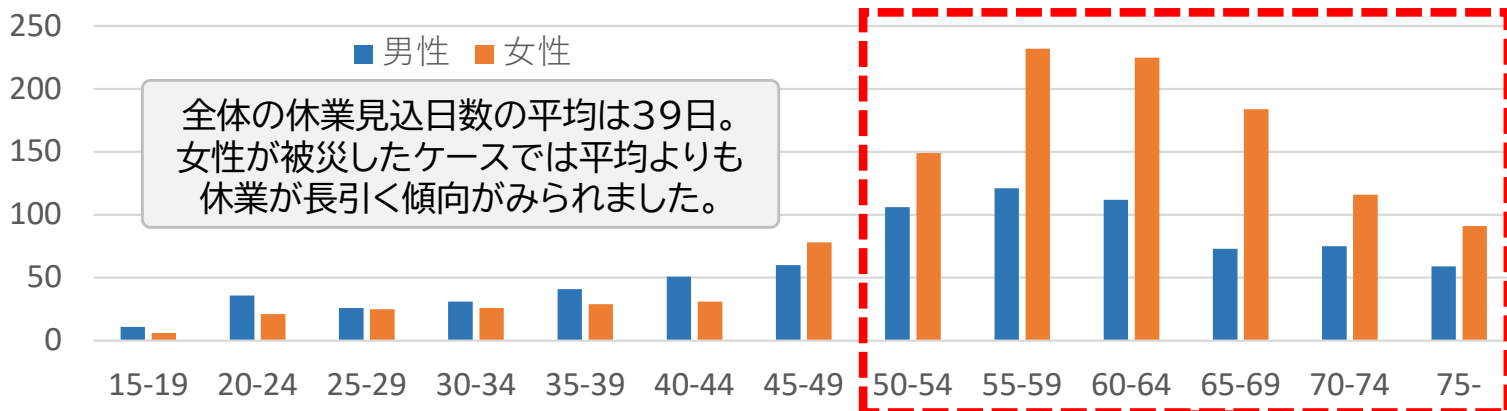


令和7年における神奈川労働局管内の労働災害発生状況

令和7年 事故の型別死傷者数(全労働災害)



令和7年中に発生した転倒災害(男女別・年齢階層別)



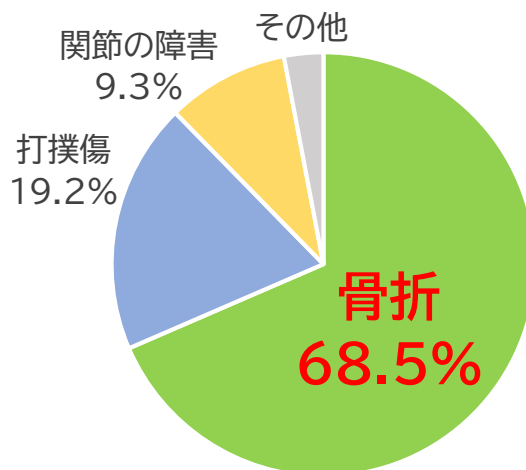
転倒による労働災害を男女別・年齢階層別にみると、

- ▶ **50歳以上で多発**しています。
- ▶ **特に女性**の被災者数が**顕著に多くなっています**。

転倒した50歳以上の女性の傷病性質をみると、

- ▶ **骨折**による負傷が約7割を占め、**中高年齢女性は重症化しやすい**と言われています。

転倒した50歳以上の女性の傷病性質の内訳



腰痛に要注意

Be careful of back pain

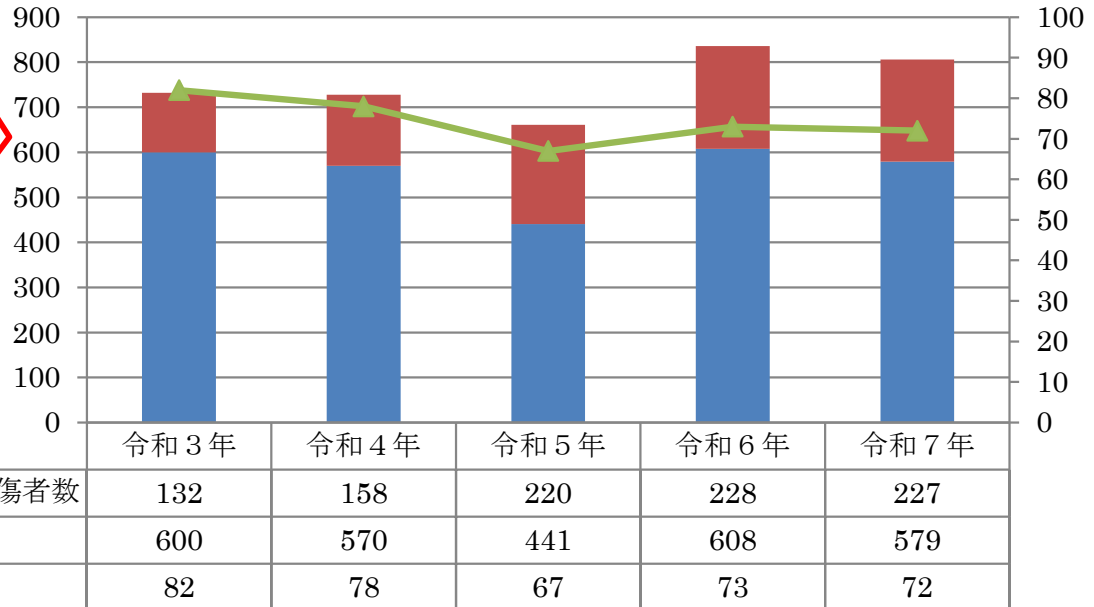


神奈川県労働局
健康課

神奈川県労働局管内における業務上疾病（腰痛）発生状況

神奈川県労働局管内の業務上疾病による休業4日以上死傷者数※は、年間700人程発生し、うち7割程度が腰痛です。

腰痛に関しては、減少傾向を示していましたが、令和6年に増加に転じて以降、令和7年も、同水準の状況となっています。



※死傷者数は新型コロナウイルス感染症を除く



腰痛予防対策



- ・腰痛予防のためのチェックリスト
- ・取り組み事例（好事例）集
- ・腰痛予防対策に関する教材・資料

職場における腰痛予防対策指針について



「腰痛予防対策指針」による予防のポイント



第14次労働災害防止計画 推進中！

- 死亡災害 5%以上減少
- 死傷災害 増加傾向に歯止め
- 2027年(令和9年)までに減少



社会福祉施設・小売業・運輸交通業で
全体の約7割を占めます！

男女別でみると
保健衛生業の女性が被災する割合が7割を超えています！

年齢別では**30～50代で多発！**
経験期間別では、「**1年以上3年未満**」
「**10年以上**」で多発しています！

腰痛とは？

腰痛とは、腰部あるいは背中下部から下肢にかけて痛みがあり、動作等の障害が生じている状態のことをいい、病名ではなく、症状の名前です。腰痛を起こす疾患には、ぎっくり腰（腰部捻挫）や椎間板ヘルニア、椎体骨折、腰痛症（椎体や椎間板などに原因を見いだせない腰痛）などが含まれています。

業務上疾病による腰痛で命を落とすことはあまり例がありませんが、ひとたび発生すると現場の労働力に影響する下記の問題が生じます。

- ①長期休業に至るケースが多い。
- ②再発率が高く、慢性化することが多い。
- ③腰痛を理由とした離職に至るケースが多い。

業務上疾病による腰痛ではなく腰の痛みを伴う病気もあります。例えば、化膿性脊椎炎（免疫を抑制する薬を服用している方など）大動脈の病気（解離性大動脈瘤、大動脈瘤破裂）尿路結石や生理痛など

上記例は腰痛の中でも占める割合は極めて低いものですが、「腰痛＝整形外科」だけではないことも覚えておきましょう



ご存じですか？各種サービスのご活用を検討してください♡

独立行政法人 労働者健康安全機構
神奈川産業保健総合支援センター
ゼロ災！無料出張サービス



○工作中的転倒・腰痛災害「0」を目指して取り組む企業へ
専門家(健康運動指導士や理学療法士など)を派遣！
・専門家がヒアリングして、事業場に合った健康応援メニュー等を提案します。

※詳しくは左記QRコード(神奈川産業保健総合支援センターHP)にてご確認ください。

令和8年度 エイジフレンドリー補助金



※厚生労働省事業
補助事業者
一般社団法人
日本労働安全衛生
コンサルタント会

○高齢労働者の労働災害防止のための設備改善や専門家による指導を受けるための経費の一部を補助します。

○今年度は主に3つのコースが設定されています！

- ① 専門家総合対策コース(職場環境改善・運動指導等)
- ② 熱中症対策コース
- ③ コラボヘルスコース

※詳しくは左記QRコード(厚生労働省HP)にてご確認ください。

中央労働災害防止協会
中小規模事業場
安全衛生サポート事業



※厚生労働省補助事業

①個別支援

・腰痛災害などの予防のアドバイス

②集団支援

・職場の腰痛予防対策に関する研修や講習の実施 など

※詳しくは左記QRコード(中央労働災害防止協会HP)にてご確認ください。

☆支援事業を上手に活用し、腰痛による労働災害を予防しましょう☆